

第1回 ごか町の 歴史

—歴史の証人・五霞の神社仏閣—

- ・三蔵法師の孫弟子・行基菩薩開山の「実相院」
- ・新田義貞開基の「正徳寺」
- ・浄土宗・藤田派の本山「無量寿寺」
- ・鎌倉公方・足利持氏開基の「法宣寺」
- ・古河公方・足利成氏が建立した「天満宮」
- ・徳川家康も泊まった「東昌寺」
- ・松平信康(家康長男)の菩提寺「隆岩寺」

歴史が語られることもなく
静かに眠り続ける五霞の町

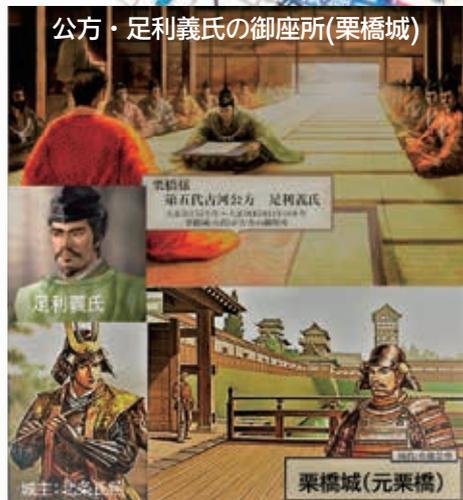
縄文から江戸時代にかけて、
いつの時代でも五霞町は
関東の歴史の真ん中にいた

- ◆縄文時代 関東海陸交易の中心地(原宿台)
- ◆古墳時代 関東に例がない貴重な古墳(川妻)
- ◆平安・鎌倉 名馬ゆかりの地(幸主・小福田)
- ◆室町・戦国 関東公方の御座所(元栗橋)
- ◆江戸時代 利根川東遷「要」の地(川妻)

五霞の運命を変えた赤堀川開削(江戸時代)



物部氏が活躍した古墳時代後期の
関東の豪族の墓



北条氏照が北関東攻略の拠点として整備



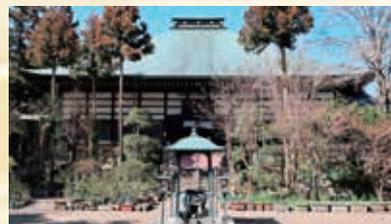
伊豆三宅島以南で生息するオオツタノハ貝が伊豆大島で貝輪(縄文の高級ブランド品)に加工され原宿台の海岸へ。その数、東日本一を誇る。



源平合戦の花「宇治川の先陣争い」を競った名馬。生月の墓は幸主に、磨墨の主・梶原景季の館は小福田に在り。



実相院(奈良時代に建立)



東昌寺(室町時代に建立)

○お問い合わせ 教育委員会 生涯学習G/五霞町の文化財を守る会 ☎(84)1460 (直通)